

番号	問題文	選択肢1	選択肢2	選択肢3	選択肢4	解答	作問の意図(簡単に結構です。) 教科書P数記載
1	外感温熱病弁証の4段階のうち内風が生じるのはどれか。	気分証	衛分証	営分証	血分証	4	教科書P282-283 外感温熱病弁証＝衛気営血弁証 その進行過程を理解しているか。
2	気機について誤っているのはどれか。	喜——緩	思——結	憂——沈	驚——乱	3	教科書P65。「憂—滞」
3	気機について誤っているのはどれか。	怒——上昇	考——外向	悲——消耗	恐——下降	2	教科書P65。「考—外向」はてならめな選択肢
4	気機について誤っているのはどれか。	肝——上昇	大腸——外向	胃——下降	心——上昇	2	教科書P143。「大腸(伝化)—下降」
5	気機について誤っているのはどれか。	宣発——外	肅降——外	運化——上	封蔵——内	2	教科書P144。「宣発—外と上」「肅降—内と下」
6	足太陽膀胱経脈病証に該当しないのはどれか。	咯血	衄血	痔	瘡	1	教科書P159、5分の4辺り。→経脈病証は、新教科書P157の記載は不親切→旧教科書p85に「おこり」。血:P236-7◆経脈病症は頻出だが、近年、過去に出ていない症状が出るように。衄＝衄＝鼻出血●瘡[おこり]:瘡邪を感受することで起こる。悪寒戦慄・高热・汗・定期的発作などの症状。夏～秋に多発。暑瘧・疾瘧・寒瘧など多くの分類があり、他の病気も含んでいたと思われるが主体はマラリア性の熱病と考えられている
7	熱極生風について適切でないのはどれか。	振戦	崩漏	陰液が消耗	血脈の流通は停滞	4	教科書P167。血脈の流通は勢いを増す◆六淫はよく出題される。難しく思われがちな四字熟語的用語が文章に入った発展形
8	気虚でみられないのはどれか。	気秘	懶言	短気	自汗	1	教科書P47。気秘は気滞による便秘、気虚による便秘は虚秘、p230◆問題文はよくあるパターンだが、選択肢が難しい。懶言は馴染みにくい。短気は息切れ【p215】と理解していない受験生はいる
9	気化作用の低下で現れる症状はどれか。	汗や尿が出ない、浮腫	寒がる、四肢冷え、顔面蒼白	疲れやすい、精神疲労、息切れ	自汗、カゼをひきやすい、悪風	1	教科書P61。気の行津(津液をめぐらせる)作用が低下◆「気化」を理解しているか
10	三焦について誤った組み合わせはどれか。	上焦—霧	上焦—滋養	中焦—瀕	下焦—滄	4	教科書P126、古p48。下焦は「瀆」(通水溝の意)。「滄」は?+倉だが、青い水の色で意、下焦に無関係◆上焦・下焦はこれ迄ほぼ出題されていない
11	五更泄瀉の五更はどれか。	午前1時～3時	午前3時～5時	午前5時～7時	午前7時～9時	2	教科書P230。五更の刻は午前3～5時◆時間までは覚えているかどうか
12	便について適切でないものはどれか。	泄は大便が稀薄で出たり止まったりするもの	瀉は泄よりもさらに稀薄な水様便	瀉泄は泥状便	瀉泄は水様便がなかなか止まらないもの	4	教科書P230。瀉泄は未消化便◆便の定義、瀉泄は覚えているか
13	癰閉について適切でないのはどれか。	尿が出にくい	排尿がスムーズではない	血流が閉塞する	要因の一つに肺熱がある	3	教科書P232癰閉は、血流が閉塞することを指さない◆「癰閉」はあまり馴染みがない
14	痛みの性質と病証との組合せで誤っているのはどれか。	重痛——瘀血	隠痛——虚証	掣痛——肝血不足	空痛——腎精不足	1	教科書P243*3◆ベーシックな範疇だが、痛みの種類が多く覚え切れているか。特に掣痛はこれ迄ほぼ出題なく、ノーマークの受験生いるか(脹痛3度、重痛2度出題)
15	五行色体において相剋関係にあるものはどれか。	噦—哭	微—腥	満—生	臭—唇	2	教科書P199五行色体表参照
16	気機が上へ向かう作用をもつのはどれか。	運化	伝化	納気	気化	1	教科書P143-149。運化は昇清の特性を持つので上、伝化は肺の肅降を補助する役割があるので下、納気は肺の肅降作用を補助する役割もあるため、内におさめるという性質がある、気化は外へ向かわせる性質がある。
17	肺の生理特性で誤っているのはどれか。	通調水道に関与する	治節を主る	生痰の源	百脈を朝ず	3	水液代謝における肅降の働きを通調水道といい、人体の上部での水液代謝を主っているため水の光源とも呼ばれる。また、宣発肅降作用の協調運動を管理調節する機能を治節という。脾や肺は津液代謝にかかわるため、脾は生痰の源、肺は貯痰の器という。すべての血はいったん肺に朝めて(集めて)から運行され、全身をめぐって再び肺に戻ってくるため、肺は百脈を朝ずといわれる。
18	嗅覚により診察する方法はどれか。	巧技	神技	聖技	工技	3	神技は望診(視覚)、聖技は聞診(嗅覚、聴覚)、工技は問診、巧技は切診(触覚)
19	痛みの性質の病態の組合せて正しいのはどれか。	拒痛—氣滯	刺痛—血瘀	重痛—陰虚	掣痛—陽虚	2	脹痛＝氣滯、重痛＝湿邪による氣血の運行が滞ること起こる、掣痛＝肝血の不足や経脈の滞りによるもの
20	疏泄の働きに関与しないのはどれか。	全身の陽を調節する。	胆汁の分泌を促す。	血を全身に巡らせる。	中焦の気機を調節する。	1	心の陽気は全身を温煦している、心陽は全身の陽気を中心であり、病理的には熱化しやすく、熱さを嫌う性質がある。

21	奇経八脈病証で任脈の病とされるのはどれか。	寒熱に苦しむ	逆気して下痢	疝気、月経異常	心臓部痛に苦しむ	3	寒熱に苦しむ＝陽維脈、逆気して下痢（逆気とは悪心、嘔吐、めまい、頭痛のこと）・月経異常・崩漏＝衝脈、心臓部痛に苦しむ＝陰維脈
22	六経弁証において寒熱往来・胸脇苦満・口苦・目眩・弦脈が見られるのはどれか。	太陽病	陽明病	太陰病	少陽病	4	教科書P281-282 病位による症状の特徴を覚えて！
23	是動病に分類されるのはどれか。	邪が内にある病	臓腑の病	他経の病	まず気が病む	4	教科書表記なし。冊子参照。
24	奇恒の腑について誤っているものを答えなさい。	精神活動及び感覚や運動を主る。	月経、妊娠、出産に關与する。	津液が運行する通路である。	髓の府とも呼ばれ、肢体を支える役割を担う。	3	3. 津液を運行する通路は三焦であり、奇恒の腑には含まれない。 1. 脳、2. 女子胞、4. 骨のことを指す。
25	六腑について誤っているものを選びなさい。	中腔器官である。	水穀の精微を化生し、吸収する。	起こる病態は実証が多い。	胆汁の生成を行っている。	4	胆汁の生成は肝で行い、貯蔵と排泄は胆で行っている。
26	六腑の説明で正しいものを選びなさい。	小腸は単独で動き、熱を産生する。	胆は独立して存在し、胆のみで機能失調を起こしやすい。	大腸は肺の機能の補助を受ける。	胃は喜燥惡湿の特性を持つ。	3	1. 小腸は心火により温められることで正常に働く。2. 胆は肝の病態が進行すると傷れやすい。3. 大腸の伝化は肺の肅降作用の補助を受ける。4. 胃は喜湿惡燥、脾は喜燥惡湿の特性を持つ。
27	風邪の特徴で正しいものを選びなさい。	脾を犯しやすい。	肺を損傷しやすい。	百病の長と言われている。	氣と津液を損傷しやすい。	3	1. 湿邪、2. 燥邪、3. 風邪、4. 熱邪（火邪、暑邪） 教科書P163-167
28	内傷病因の説明で誤っているものを選びなさい。	飲酒は少量であれば健康維持に役立つ。	労倦とは精神的、肉体的疲労の事を指す。	房事過多によりめまいや腰膝酸軟という症状が現われる。	やけどは内傷病因に含まれ、陰液の損傷が起こる。	4	内傷病因には飲食不節、労逸、房事過多、七情の失調がある。 外傷や火傷は外感病因でも内傷病因でもない。
29	次の説明について誤っているものを選びなさい。	内生五邪と六淫の相違点は発生機序の違いである。	内熱は内火より熱証の程度が強い。	内風のことは肝風ともいい、肝と関わりが深い。	内燥は火熱によって陰液が損傷することによって起こる。	2	教科書P172-173、内生五邪とは臓腑や生理物質の失調によって、六淫が人体に侵襲した際に類似した現象が起こり、それによって六淫と同様の症候が発生したり、疾病が起こす病態。内風、内寒、内湿、内燥、内火（内熱）。六淫と内生五邪の相違点は発生機序の違いがある。六淫は気候変化などによるものであり、表証を呈し実証に属する。内生五邪は主に臓腑機能の失調によるもので、裏証に属し、虚証あるいは虚実挟雜証である場合が多い。ただし、暑邪はない。
30	陰陽可分の法則に基づく考え方で五臓のうち、陰が最も極まっているとされるのはどれか。	肺	腎	脾	肝	3	脾は陰中の至陰といわれる。陰中の陰である腎よりも陰が極まっている。
31	脈について誤っているものを選びなさい。	主な機能は生理物質の運行と情報の伝達である。	内外の環境や病因の特性を反映する。	元神の府とも呼ばれる。	心と関係が深い。	3	3. 元神の府は脳（髓海）といわれ、神と密接に関係する。
32	津液について津が主となり滋養するものを選びなさい。	関節	臓腑	脳	九竅	4	津はさらさらとして動きやすい性質で、全身を循環し、皮膚、筋肉、九竅、に散布される。 液はねばねばとして流動性が低い性質を持ったもので、関節、臓腑、脳などに注ぎ滋潤や潤滑の役割を担う。
33	大腸濕熱のとき現れる可能性の低いものを選びなさい。	裏急後重	尿希薄で量は多い。	黄膩苔	口渴	2	甘いものや油っこいものを過食や多量の飲酒、不衛生な飲食物の摂取などにより起こることが多い。腹痛があり急な便意をもよおし、排便しても残便感がある。これを裏急後重という。
34	肝脾不和証について誤っているものを選びなさい。	脈は弦脈となる。	腹脹を呈する。	急躁が起こる。	脈は弦、舌は紅舌黄苔	4	肝鬱氣滯と脾氣虚が同時に起こる病証。症状は抑うつ感、急躁、易怒、頭痛、胸部部痛、食欲不振、下痢、腹脹、弦脈、となる。重要ポイントはこの病証では冷えや熱に関わる症状は出現しない。
35	脈状の説明で代脈を表しているものを選びなさい。	拍動が勢いよく触れ、去るときに勢いが衰えるもの。	脈拍が規則正しく止まるもの。	脈拍がやや遅く、不規則にときどき止まるもの。	脈拍が速く、不規則にときどき止まるもの。	2	1. 洪脈：浮脈で触れ、脈幅が大きいもの。拍動が勢いよく触れ、去るときに勢いが衰えるもの。、2. 代脈：脈拍が規則的に止まり、拍動が回復するまでの間欠時間がわりと長いもの。3. 結脈：脈拍がやや遅く、不規則にときどき止まるもの。4. 促脈：脈拍が速く、不規則にときどき止まるもの。
36	心腎不交証について誤っているものを選びなさい。	脈は細数となる。	潮熱を呈する。	腰膝酸軟がとなる。	舌は厚黄苔を呈する。	4	心腎陰虚が改善されず、心陰が心陽を抑制することが出来なくなり、心陽が亢進すると心火亢盛となる。このように心と腎の陰陽の平衡が失われた病証を心腎不交といい、心下亢盛と心腎陰虚が同時に存在する病証である。症状は陰虚の所見と不眠、多夢、心悸、心煩、腰膝酸軟、皮膚の乾燥、口乾、舌尖紅、舌質紅、脈細数、舌質瘦薄、尺脈弱。
37	五行分類ですべてが同属でない組み合わせのものを選びなさい。	春・生・風・青・東	蔵・白・腥・商・西	汗・苦・面色・久視・笑	口・肌肉・思・歌・噦	2	
38	氣や津液を損ないやすく、昇散性を持つ六淫を選びなさい。	寒邪	燥邪	暑邪	風邪	3	教科書P163-167暑邪は昇散性と炎熱性があり、氣や津液を損ないやすい。そして、湿邪を伴う。
39	五臓の精氣が反映される部位とされ、形状などを観察することにより五臓の機能状態を診ることができらるものを選びなさい。	五華	五官	五体	五味	1	五官は五臓が主る感覚器のことである。五体は五臓と関連する身体組織のことである。五味は人が感じる5つの味のことである。
40	次の患者において正しい弁証名を答えなさい。「不眠、健忘、動悸、胸苦しさがあり舌がこわばりうまく話せない。舌淡白、瘦舌」	肝血虚	肝陰虚	心血虚	心陽虚	3	心の主証である動悸、不眠が起こり、血虚によるめまいや健忘が起こる。舌は心が主る。

41	問41の患者において現れやすい脈状はどれか。	数脈	洪脈	細脈	結脈	3	
42	奇経八脈のうち、十二経脈の海といわれる経脈の説明で正しいものを答えなさい。	陰経と陽経を協調させる作用がある。	陽経の気血を調節する。	上下に走るかく経脈を束ね調節する作用	胞宮より起こる。	4	教科書P154－155 十二経脈の海は衝脈を指し、1. 陰蹻脈・陽蹻脈、2. 督脈、3. 帯脈
43	脾胃湿熱の場合にみられる味覚の異常感覚を選びなさい。	口淡	口甜	口苦	口酸	2	脾胃湿熱は虚実挟雑証であるが主として湿熱（実証）の症状が著明である場合が多い。
44	十二刺のうち骨痺に対して刺鍼するのはどれか。	陰刺	輸刺	賛刺	短刺	4	短刺とは骨髓が損なわれ、骨痛み体重く、四肢重く挙げにくいとき鍼を揺すりながら深く刺して骨に至らせ、鍼で骨を上下にこするようにする。短は急迫の意で、頻々と揺すり、かつ骨に迫るので短刺という。
45	心肝火旺証で起こりにくい症状はどれか。	口渇	急躁	不眠	目のかすみ	4	陽が旺盛で上焦に位置するため炎上の特徴を有する内火、肝火の影響を受けやすい。肝火上炎と心火亢盛が同時に起こる病証である。
46	陽の機能低下により、相対的に陰の機能が陽より旺盛になるとき出現する症状はどれか。	消瘦	小便清長	脈数	潮熱	2	陽虚の所見を選ぶ問題。1・4は陰虚、3は熱証を表す。
47	衛気營血弁証を提唱した人物を選びなさい。	呉鞠通	李時珍	張仲景	葉天士	4	呉鞠通：三焦弁証、李時珍：本草綱目（1578年）、張仲景：傷寒論、金匱要略
48	神について誤っているものを選びなさい。	神衰とは神の機能が高度に失調し、精神活動が極度に低下している状態である。	魄は感覚の異常として現れる。	病理の本質は精神活動の失調と形神不具である。	五志とは外界の刺激に対する情動反応である。	1	教科書P62.67.68 神衰は神の失調により精神的に萎縮し、反応が鈍く、生命力が減退した状態である。 失神は神の機能が高度に失調し、容貌や色艶ともに衰え、精神活動が極度に低下し、意識も不鮮明になった状態である。
49	古方派の吉益東洞が「医断」の中で最優先すべきと説いている診察法はどれか。	脈診	舌診	腹診	顔面診	3	教科書P253へーそうなんや、程度でかまいません。重箱の隅問題です。 日本で重視されてきた診察法は切診です。触れる、撫でる、擦る、押す、撮む（つまむ）などして得られる反応を病態推察の材料として反応点を治療点としても考慮する。
50	脈診について誤っているものを選びなさい。	平脈は1息に4－5至である。	脈律不整の脈状には結、代、促脈がある。	六祖脈に滑瀉を加えて八祖脈する。	斜飛脈とは通常前腕前面に触れる拍動は背面で	4	斜飛脈は橈骨動脈が尺中部より橈骨茎状突起の後外側を通して合谷の方向に向かって伸びるものをいう。 反関脈とは通常前腕前面に触れる拍動は背面で触れるものをいう。